

NEW STYLE ONE MAKE RALLY



# Vitz challenge

Round 1 in 蓼科



## RALLY DATA

TRDヴィッツチャレンジ  
Round 1 in 蓼科

- 主催  
コンペラリー チーム(CRT)
- 開催日 2010年4月18日(日)
- 開催エリア 長野県内
- スタート会場 蓼科牧場大駐車場
- サービスパーク 蓼科牧場大駐車場
- ゴール会場 白樺高原ホテル
- セクション数 2
- SS本数 3本(予定6本)
- SSトータル距離 4.7km(予定9.05km)
- 総走行距離 114km(予定115km)
- 参加台数  
36台  
Class 1 7台  
Class 2 9台  
Class 3 7台  
Class 4 10台  
Class 5 3台
- 完走台数 34台 (リタイア2台)
- 取材媒体

株式会社 芸文社  
プレイドライブ

株式会社 JAF出版  
JAFスポーツ

アツい想いは雪をも解かす?!

## TRDヴィッツチャレンジ 2010シーズン いよいよ開幕!!!

2010年4月18日(日)、季節はずれの大雪にもめげず、『TRDヴィッツチャレンジ Round 1 in 蓼科』が長野県・立科町女神湖周辺で開催された。

開催前々日には「気象史上41年ぶり」という季節はずれな4月の降雪で、おおよそ40センチの積雪となった立科町。ヴィッツチャレンジの開催が危ぶまれたが、オフィシャルスタッフによる昼夜問わずの除雪作業が行われ、無事開催へとこぎつけた。



しかし、舗装林道おおよそ6Kmは完全に除雪されたものの、未舗装林道の路面状況は思わしくなく、安全性を考慮し、やむなく未舗装林道でのSSのキャンセルを発表。

エントラントはもとより、この開催に向け、SS準備を行ったオフィシャルスタッフにおいて苦渋の決断を強いることとなった。

前々日の降雪とはうってかわって、大会当日は好天に恵まれる。だが、いたるところに多く雪が残るせいか、気温は冬のように低い。路面凍結の可能性も考慮し、レッキを含むスケジュールが30分繰り下げられたが、スケジュールは順調に進行し、10時00分、ゼッケン1号車が無事にスタートを切った。



トヨタ部品長野共販株式会社





36台の色とりどりのヴィッツラリーカーが並ぶ。



TRDパーツを装着した「クラウンアスリート」と「SAI」が、スタート会場兼サービス会場に展示された。



和光ケミカル様による製品の展示。 エントラントからは度々オイルについて質問する姿が見受けられる。エントラントにとって大変心強いことだろう。

SS1 / SS3  
00秒でのカウントダウンスタートは緊張の一瞬。

ヴィッツチャレンジ事務局が用意しているレンタルラリーカーは今年も活躍する。気軽に参加できるモータースポーツの門戸がさらに開かれた。



Vitz RS TRD Racingを購入し、クラス2に親子で参加した川崎選手。父がコ・ドライバーを務める。今後の活躍が楽しみだ。



昨年までクラス4で活躍した永野選手。今シーズンからVitz RSに乗り換え、トヨタ自動車大学の生徒とコンビを組んで、クラス2チャンピオンを狙う。



クラス5には、トヨタ自動車大学校から2台のエントリー。特に教師と生徒によるサービスチームの働きは素晴らしかった。今回のライバルは新潟大学。

今回のラウンドには、初参加6台を含む36台のエントラントが全国から集結。

注目のクラス2には9台、学生クラス(クラス5)には3台のエントリーがあり、今後の盛り上がり期待できそうである。

SSコースはターマック(舗装)林道の順走と逆走を各2本ずつ行うという単純なものとなってしまうが、凍結が心配された路面も1本目のSSスタートまでには完全にドライとなり、好コンディションの中でアタックすることができた。

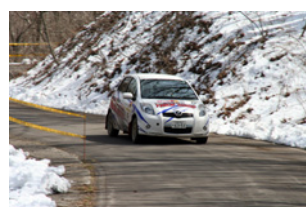
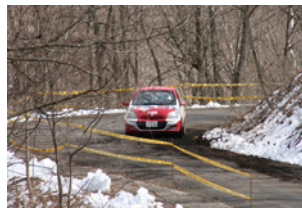
しかし、天候は更なる試練をヴィッツチャレンジに与える。計測器にトラブルが生じることで、残念ながらこのSS4はキャンセルを余儀なくされることに。結果として3本のSSで競技が成立することとなってしまった。



また、今回のラウンドには3回のサービスが設定された。ダート(未舗装)林道SSのキャンセルにより、今回の場合はエントラントにとって「ゆとりのひととき」となっていたようだが、本来であれば、サービス回数が多いということは、それぞれのSSに最適なセッティング調整ができる良い機会となるはずだ。



2回目のサービスは、ランチタイムも兼ねた小休止。エントラントたちはお弁当をほおばりながら、午前セクションの成績や午後セクションのSS攻略など、余念の無い様子である。





ウィンターラリーを彷彿とさせた今回のラリーを無事にクリアしたヴィッツラリーカーは次々とゴール。車両保管を済ませ安堵の顔を見せるエントラントは、表彰式会場となる白樺高原ホテルへ移動。いつもながら今日のラリーの話題で談笑するエントラントであるが、SSタイムの話となると、ひとたび真剣な面持ちとなる。和やかな雰囲気の中、初参加エントラントの紹介や、大学自動車部の紹介がされ、その後は表彰式へと移行。また、クラス1で活躍する鎌野選手と増川選手が、全日本ラリー選手権『ラリー北海道』へ挑戦する旨の報告もされた。ヴィッツチャレンジ参加者による意欲的な活動にも注目したい。



優勝	野村 長 / 山岸 佑也
2位	松木 秀樹 / 桜井 克之



優勝	永野 隆之 / 後藤 一之
2位	吉谷 基伸 / 杉谷 昇



優勝	苗村 貞明 / 花川 俊一
2位	鈴木 歩 / 石倉 せいじん



優勝	小林 直広 / 羽澄 みどり
2位	村木 佐千子 / 佐々木 康行
2位	西能 徹 / 波田 隆志



優勝	トヨタ東京自動車大学校 (朝倉 直樹 / 須田 憲太郎)
----	---------------------------------

主 幹：TRDヴィッツチャレンジ事務局（株式会社プロクルーズ内）

次回、TRDヴィッツチャレンジ Round 2 in 高山は、2010年6月6日(日)岐阜県高山市周辺にて開催いたします。